



特集

# 市役所で働く人たち

曾於市役所では現在、約350人の職員が働いています。用事がないとなかなか行くことのない市役所。職員たちはどんな仕事をして、どんな想いを胸に働いているのか。今回は様々な分野の6人に話を聞いてきました。





— 今までの仕事で印象に残っているのは？

生きいき健康センターの基本計画から設立まで携わったことですね。これまでに保健課に2度配属され、1回目は国保係で2回目は包括支援センターと住民の皆様の健康にふれ、病気やメンタルヘルス、運動機能の低下を止めるためにはどうすればいいかなどを考えました。健康な人がふえるというのは、市にとっても医療費の抑制になります。そのためにも、健康の拠点として幅広い年代に利用される施設にしたいと考え

ました。

— 大仕事ですね。

施設をつくると一言でいっても、利用方法やどんな器具が必要か、などいろいろありました。分からないことだらけで、保健師の意見を聞いたり、建設課、教育委員会など、課を超えて意見や協力をお願い取り組めたことが、大変勉強になりました。

— 日頃の仕事で大切にしているのは？

「このやり方は、これでいいのか」というのを考えるようにしています。今やっている仕事のやり方は正しいのか、効率化できないか、変えることはできないか。そうやって仕事を進めると楽しいですよ。

— 異動してもそれは一緒ですか？

そうですね。市役所にいるといろんな事を相談されます。そんな時に、ある程度のアドバイスや関係課・関係機関へ誘導するためにも、幅広く知っていたほうがいい。またその経験が異動した先々でも生かせるようにしたい。まずはやってみようと思うことが大切だと思います。

— 市役所に入ろうと思った理由は？

地元に残りたいと思ったのと、結婚して子どもを産んでも続けられる仕事がいいと思ったんです。実際、産休と育休でお休みをいただきました。産休・育休を取得できる環境が整っていたので、すごくありがたかったです。

— 仕事は楽しいですか？

わたしは税務課と教育委員会の総務課、そして現在の総務課を経験していて、仕事は事務仕事が多いのですが楽しいですね。黙々とやるのが嫌いじゃないんだと思います。ひとつひとつ丁寧に取り組むことを心がけ、小さな目標や楽しみを見つけるようにしています。

— 仕事のやりがいは？

今、わたしは『サポート職員』というものをしていて、簡単に言うと2週間から2カ月の期間で、忙しい部署をフォローに行くというもの。

前も財政課へ行ったり、先週も税務課で、納税関係の封書をつくるなどしていました。この制度自体、今は試行期間中でサポート職員はわたしだけで不安な反面、この1年がどんなものになるのか楽しみです。

— 市役所の良いところは？

サポート職員でいったときも思うんですが、相談できる環境があることだと思います。大変なときや困ったとき、みんなで取り組もうという体制がある。ちゃんと役に立てているのか不安になることもあるんですけど、みんな一生懸命で優しいので、頑張れます。



平成19年 入庁 (12年目)  
山野 ゆかり さん

総務課

平成29年 入庁（2年目）

## 森岡 里恵 さん 福祉事務所

―市役所に入ろうと思った理由は？

わたしは病院で10年間社会福祉士として働いていたのですが、地元で資格を活かして働きたいと思っていました。曾於市の募集を見つけたとき、曾於市が「社会福祉士」を技術職として募集するのはそのときが初めてで、チャレンジのつもりで受けました。嬉しいことに合格をいただき、今2年目です。同期とは年齢も違うけどすごく刺激をもらえています。

―どんな仕事をしているんですか？

社会福祉士というのは「生活していく上でおこる様々な問題を抱えた人に専門的に相談支援を行う」という仕事。今は制度と人をつなぐため、窓口での相談や、事業の手続きなどの相談を受けています。

―良かったと思うことは？

事業の申請などが終わったあとでも、経過を知ることができるって



ことです。市役所にきたついでに顔を見せてくださったり、他の職員から様子を聞けたりできて嬉しいです。あと、地域で活動されている方の声も聞けることが元気をもらえます。支援の必要な人だけでなく、そのまわりの方たちの話を聞けるので、すごく勉強になりますね。

―市役所で働いて1年。印象は？

地元なのに曾於市のこと全然知らなかったなと思います。制度にしても、地域のつながりにしても、いいものがたくさんある。新鮮ですごく楽しいです。もともと曾於市のこと、制度のこと、勉強していきたいと思っています。

―どんな仕事をしているんですか？

今は、文化財係にいて、文化財の保存と活用に使っています。曾於市の文化財を知ってもらうために、教員や議員、学校向けに歴史講座をしたり、総合大学で講師などもやっているのですが、これは仕事なのか趣味なのかわからないくらいですね（笑）。

―元々歴史が好きと聞きました。

そうですね。地歴の先生になりました。思ったのですが狭き門で諦めて、職員試験を受けました。そのときは文化財の仕事をするとは思ってなかったですよ。だけが大隅町時代に4年ちょっと、そしてまた7年前に戻ってきて、好きなのも高じてだいぶ詳しくなりました。仕事を通して曾於市を知って、今ではライフワークになったともいえますね。

―好きなことが仕事だと異動が嫌とかはないのでしょうか？

ないですね。市の職員はそればかりになってはいけないと思います。視野を広くしていかないと。色々な部署での経験があるからできることもあると思うんです。それに異動があっても、歴史についてはプライベートでやっていそうだしね（笑）。

―日頃の仕事で大切にしているのは？

当たり前なんですけど、相手の気持ちになって考えることですね。自分のことだけを考えるのはダメでなるべくわかりやすく、そして+aを伝えるようにしています。それでも、常にアンテナを張って、最新情報を入れることも心掛けていますね。

平成9年 入庁（21年目）

## 加塩 英樹 さん

教育委員会  
社会教育課



平成25年 入庁（6年目）

## 四俣 勇人 さん 建設課

— 四俣さんは県外出身の職員ということで、なぜ曾於市に？

県下一周駅伝を走りたくて、福岡市から移住しました。大学の陸上仲間が末吉の出身で夏休みとかよく来ていて。その頃、県下一周で曾於チームは首位争いをしているような時代で、「自分も走りたい」と思ったんです。

— 市役所に入ろうと思った理由は？

市外への異動がないってというのが一番ですかね。前の会社は県外に異動の可能性があるって、走るために来たのにそれじゃ意味がないなと（笑）。でも、当たり前ですけど、走るために来たから仕事はしない、とかは違うと思うんですよ。仕事は仕事でちゃんとやっただうえで、走れたらいい。

— 入って良かったと思うことは？

まさに興味を持てるようになったのはありますね。知らないこともた



くさんあって、知れることはすごく楽しいです。いろいろ勉強もできますし。あと、飲み会とかのときに（お店まで）走って来てもいいよ”って言ってもらえることがあって、理解があるなど嬉しくなりますね。ちょうど10キロくらいだから、トレーニングになりますし（笑）。

— 日頃の仕事で大切にしているのは？

費用対効果、というか「自分には人件費という税金がかかっている」ということは意識してますね。少しでも効率よくありたいとは思っています。あと、移住してきたこと、民間で働いてきた経験があることは、自分の強みだと思うので、そういう「外の視点」を曾於市に還元できたらと思っています。

— 市役所に入ろうと思った理由は？

父が公務員なので、それが大きいですね。地域の人と交流しているイメージが強くて、いいなと思っていました。地元は三股町なのですが、「曾於市は高校生まで医療費無料」とか知っていて、すごいなと。

— どんな仕事しているんですか？

うちは観光係なので、農村都市交流といって、都市部の学生に民泊してもらったり、観光ルートを曾於市だけじゃなく広域で考えたり、特産品開発；それにそお星人のPRですね！

— 仕事のやりがい？

わたしが市役所入ったときは、そお星人もまだ1歳で、曾於市に出ても「何これ？」という感じだったんです。だけど、今ではぶわーって子どもたちが集まってきてくれたり、大阪や東京でのイベントでも「そお星人」って覚えてくれたり、認知度

あがってる！と嬉しいですね。それに、市民の方とも市外の方とも話す機会が多いので、たくさん意見もいただけて勉強になります。その意見から実現したこともあって、面白いです。

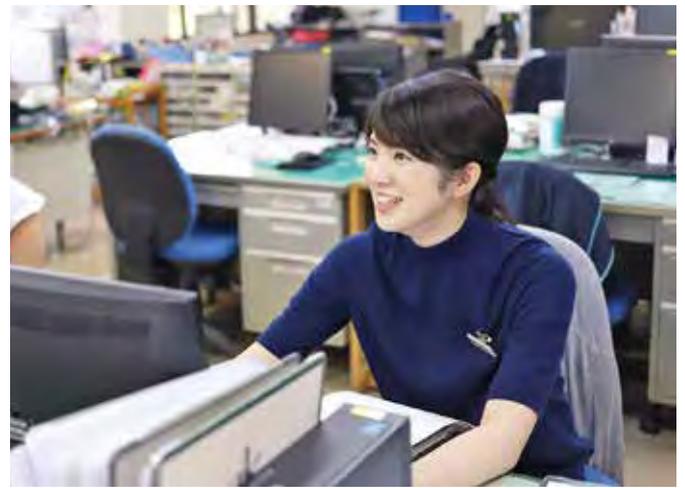
— 日頃の仕事で大切にしているのは？

基本ですけど「笑顔でしっかり挨拶すること」。人に顔と名前を覚えてもらえるように、地域の方とも交流もなるべくするように、と思っています。あとは観光分野だと、市役所外の方とお仕事することも多いんですが、お願いしたあともほったらかしにしないというのは気を付けてます。たまにでも顔を出すとか。そういうのも人と話すのが好きなので楽しいですね。

平成28年 入庁（3年目）

## 白尾 結 さん 商工観光課





まちを知り、  
 まちを想い、  
 まちを好きになる  
 仕事。

平成 31 年 4 月採用予定  
 曾於市職員募集

知らないことを知っていくって、楽しい。  
 自分の住んでいるまちを好きになるの  
 って、嬉しい。そんな「まちに一番近い仕  
 事」を一緒にできる仲間を募集します。

募集要項など詳細については、決定次第  
 曾於市ホームページなどでお知らせします。  
<https://www.city.soo.kagoshima.jp/>

**重要**

平成 30 年 6 月 1 日

曾於市役所 総務課 秘書人事係

# 平成30年度から曾於市職員の採用試験が変わります！

これからの曾於市を支える多様な人材を確保するため、今年度から曾於市の職員採用試験をリニューアルしました。

**その1** 募集年齢を引き上げ！ **28 歳から 32 歳へ**

**その2** 1 次試験の「教養試験」をリニューアル！  
**『新教養試験』を実施**

## 新教養試験とは…

基礎的な知的能力を検証するコンパクトな試験のこと。公務員試験に向けた準備がいらず、民間企業志望者も受験しやすい内容になっています。

解答時間 75 分 形式 四肢択一式。

### 出題分野

- 『社会への関心と理解』（24 題）…………… 国内外の重要な出来事に関して基本的な理解を問う問題
- 『言語的な能力』（18 題）…………… 日本語の文章や語彙・用法、英文や英語の用法などの理解を問うものなど、言語的な能力をみる問題
- 『論理的な思考力』（18 題）…………… 与えられた条件や資料などから論理的に考察することにより正答を導き出す問題など、論理的思考力をみる問題

計 60 題 となる予定です。

※ 農業、土木等技術職員の採用試験も新教養試験のみとなります。  
※ 作文試験、適性試験、面接試験は実施予定です。

## 今後の予定

- 7 月上旬 採用試験の詳細（試験案内・必要書類）の公開（募集開始）
- 9 月 16 日（日） 一次試験（新教養試験、作文試験、適性試験）
- 11 月上旬 二次試験（面接試験）

※上記予定が変更になった際はお知らせします。

この件に関するお問い合わせは…

曾於市役所 本庁 総務課 ☎ 0986-76-8801